



# 海外生活 エッセー

ソウル事務所

## 異文化交流は食堂から

(一財) 自治体国際化協会ソウル事務 所長補佐 小畑 勇二郎 (京都府派遣)

サムゲタン、スンドゥブ、タッカンマリなど、韓国ではさまざまな専門食堂があり、美味しい物にたくさん出会ってきましたが、筆者の食堂での出会いは食べ物だけではありません。今回は、さまざまな韓国食堂で体験したエピソードを1つのお店にまとめてご紹介します。

### → 入店

訪れたのはソウル「広蔵市場」のユッケ店。こちらには、ユッケ専門店がずらっと並び「ユッケ通り」があり、各地から人が集まります。お目当てのお店は人気店のため、3人で10人程の列に加わります。席は2人席を自由に動かし、4人以上にできます。一番前まで順番が来て待っていると、お店のアジュンマ(おばさん)が次々と後続の2



육회(ユッケ)の文字が並び通り

人組を優先して案内してしまいます。(特段説明はありません。)このままではなかなか4人席が空かないのが韓国。「かなり待っているから早くして欲しい」とアピールすると、2人席を一時空席にして、4人席を作ってくれます。韓国では、どんな場面に置いても、自己主張すべきことはすることが大切です。

### → 注文には要注意

ユッケ専門店ですが、ほかのメニューもあり、丁寧に4品ほど注文します。すると再び定員さんが戻ってきて、「最後の注文はなんでしたか」と確認。こうした場合も、慌てず、もう一度丁寧に注文をお願いします。韓国の店

員さんはあまりメモをとる習慣がないため、このようなことがよくあります。料理は、非常に新鮮で美味しく、さすが食の王国・韓国と感ずるものでした。その地できか食べられないものを食べることは、海外生活の中で最上級の楽しみです。

余談ですが、韓国の飲食店の食器やテーブルは類似している印象が強いです。例えば使い捨て食器(丼型)を探しに問屋街に行っても、サイズは3種類ほどしかなく、用途に合わせた細かい分類はありません。

### → 唐突に始まる異文化交流

食事をしていると、突然、店員さんから「日本人ですか」と聞かれ、そうだと答えると、旅行や留学、日本で出会った日本人との会話などを次々に話してこられます。これに驚いていると、隣の席に座られた紳士淑女から、またまた同じ質問です。そこでお酒の勢いに任せて仲良くなると、ソジュ(韓国焼酎)一本(アルコール度数20度!)を頂き、新品の名刺入れまでも「ソナムル(プレゼント)」と言って手に押し込められます。このように、他者へ友情や愛情を注ぐことを、いちいち躊躇わない光景には、韓国でたくさん出会ってききましたが、頂いたソジュを飲みきることに苦労したことは言うまでもありません。

毎日、常に生じる小さな違いに、初めは困惑しながらも、「これが韓国文化だ」と体で認めることができるようになったことは、クレア派遣での貴重な経験です。



屋台では隣の人から話し掛けられることも多い